

# 令和6年産水稲におけるイネカメムシの対策

管内においても「イネカメムシ」による被害(不稔や斑点米の発生)が増加傾向にあり、注意が必要です。

## 1. イネカメムシの被害と発生生態

- 水稲の出穂前後(7月下旬～8月下旬)に水田へ飛来し、産卵・増殖する。その後、8月下旬以降に出穂する水稲ほ場へ移動する。
- 籾の基部のみを加害する。**出穂期に加害されると不稔に、穂揃い期以降に加害されると斑点米が生じる。**
- 日中は水稲の株元に隠れており、夜間に穂へあがって加害する。

### イネカメムシ



- 体長12～13mm
- 国内で越冬する
- 他のカメムシより加害時期が早い

### 斑点米の例



**籾の基部を加害**



## 2. イネカメムシの防除対策

- ① **イネカメムシの発生状況に注意しましょう。**  
福岡県病害虫防除所が公表するイネカメムシの予察灯誘殺数の情報を参考に、ほ場を観察することでほ場での発生状況を確認してください。
- ② **出穂期(40～50%)に1回目の防除を行いましょう。発生が多い場所では、出穂期7日後に2回目の防除を検討しましょう。**  
不稔籾の発生を防ぐためには、出穂期の防除が特に重要です。
- ③ **本田で防除する際は、株元まで薬剤が届くようにしましょう。**  
薬剤は株元にいるカメムシに届くように散布しましょう。また、大型のカメムシのため、粒剤よりも液剤や粉剤の方が防除効果が高いです。

## ●カメムシに対する薬剤例

名称	希釈倍率 使用量	散布液量 (ℓ/10a)	使用 回数	使用時期
アルバリン 顆粒水溶剤	2000倍	60～150	3回	収穫7日前まで
アルバリン 粉剤DL	3kg/10a	-		収穫7日前まで
エクシード フロアブル	2000倍	60～150	3回	収穫7日前まで
エクシード 粉剤DL	3kg/10a	-		収穫7日前まで

※【注意】アルバリン(顆粒水溶剤・粉剤DL)とスタークル(顆粒水溶剤・粉剤DL)は同じ成分となります。

もっと、安心・安全のために

栽培履歴を正しく記帳しましょう！

### Q. なぜ記帳が必要？

#### A. 農産物の安全を確保するため

作物の生産には生産基準があり、農薬等の適正使用が求められています。しかしながら、近年農薬の適用外使用や、使用基準の間違えなどの違反事例が発生しています。そのような事故を防ぐため、栽培履歴を記帳し使用基準の再確認をしましょう。

#### 栽培履歴記帳の内容

いつ 作業を行った日付  
だれが 生産者名  
どこで 畑などの場所(住所)  
なにを 作物の名前  
どうやって 作業手順や作業基準、使用した資材の名前  
どのように 使用した肥料や農薬の名前や散布量・希釈倍率

万が一、農薬の適正使用違反が発見された場合、使用した生産者だけが罰則を受けるだけでなく、直売所などでは出荷者全員に出荷停止命令や回収命令など厳しい罰則が与えられます。



出荷先の所定の専用様式に従って、記帳をお願いいたします

※JA出荷の場合は、生産履歴の提出が必須となります